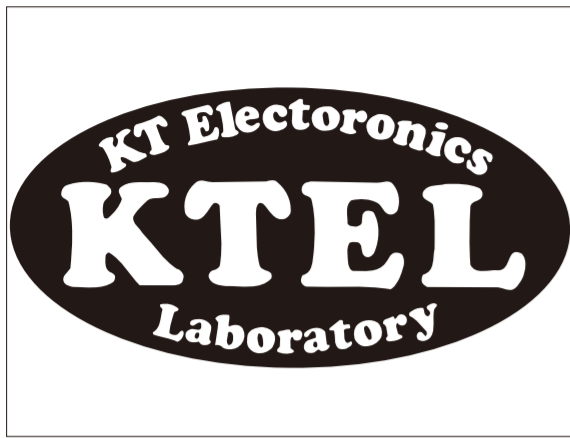


Lap up Formula NIPPON!



Formula NIPPON '12

モータースポーツのリーディングペーパー

購読のお申し込みは
0120-026-999
FAX 0120-026-993
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 http://www.f-nippon.co.jp



2011 Formula NIPPON 総集編DVD絶賛発売中!
初参戦の若きF1経験者・中嶋一貴が刺激になったか、実力がありながら「無冠の帝王」に甘んじていたアンドレ・ロッターラーがついに覚醒! 山本尚貴や塚越広大といった若手の台頭やロッターラーと前チャンプのオリベira、草野天・小暮卓史との激闘など、名場面の連続だった2011年フォーミュラ・ニッポンをここに再現!! さらにJAF GPでのデッドヒート、スペシャルインタビューなども収録。
お求めは、J SPORTSオンラインショップ (http://shop.jsports.co.jp/)、その他取扱店で。定価3,990円(税込)



J SPORTS
J SPORTSは今年もFormula NIPPONを全戦放映。サーキットに車場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第4戦 決勝
決勝 7/15(日) 13:30~17:00 J SPORTS3(生放送)
決勝再放送 7/16(月) 12:00~14:30 J SPORTS1
7/16(月) 19:30~22:00 J SPORTS3
7/20(金) 24:30~27:00 J SPORTS1
 - フォーミュラ・ニッポン2012 ダイジェスト 第4戦 富士スピードウェイ
7/28(土) 13:00~13:10 J SPORTS3 (ほかリピート放送あり)
- 番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/motor/formula_nippon/



BSフジ
決勝日の翌週日曜日(再放送は翌々土曜日)にレースダイジェストを放映します。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第4戦 富士スピードウェイ
7/22(日) 18:00~18:55(再放送:7/28(土) 13:00~13:55)
- 番組ホームページ: <http://www.bs-fuji.tv/top/pub/formula2012.html>



GyaO! (オンデマンド放送)
大会終了後14日後、24:00よりオンデマンド配信
<http://www.yahoo.co.jp/>

2012 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	4/14,15	鈴鹿サーキット
Rd.2	5/12,13	ツインリンクもてぎ
Rd.3	5/26,27	オートポリス
Rd.4	7/14,15	富士スピードウェイ
Rd.5	8/4,5	ツインリンクもてぎ
Rd.6	9/22,23	スポーツランドSUGO
Rd.7	11/3,4	鈴鹿サーキット
SPL	11/16~18	FUJI SPRINT CUP

SUPPORT RACES Result (Top10)

2012年アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第5戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	4	平川 勇	広島トヨベツ-F312	24'23.618
2	36	中山 雄一	PETRONAS TOM'S F312	9.197
3	2	Rafael Suzuki	MAD CROC TODA F308	9.514
4	7	平塚 一貴	HFDP RACING F307	18.635
5	23	佐々木 大樹	S Road NDDP F3	19.792
6	1	山内 英輝	B-MAX-F312	21.852
7	37	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F312	23.933
8	8	野原 智紀	HFDP RACING F312	28.682
9	20	Gary Thompson	KCMG	33.067
10	35	勝田 貴元	TDP SPIRIT F307	44.253

周回:15周 / 天候:曇り / コースドライ / 出走:14台

ネットカップヴィッツレース2012関東シリーズ 第3戦 予選結果

Pos	No	Driver	Car	Time
1	62	デバマン石渡	N群馬FK光生AMP Vitz	R2'17.363
2	22	北田 和哉	N千葉ジュボルト3MLVITZ	2'17.586
3	5	小野田 貴俊	N東埼玉ワコスEDVitz	2'17.875
4	66	沖井 直隆	東京IRCユムルVitz	2'17.885
5	8	インカワ ヨシオ	東京IRC岩松ML Vitz絆	2'17.940
6	13	蓮田 聡男	DjaCwMヴィッツML	2'18.093
7	108	峰 幸史	大沼NヤサファクターVitz	2'18.328
8	51	橋田 龍	KYC Vitz TRZ	2'18.602
9	520	森井 健太	DjaCMLWMLDVitz	2'18.806
10	921	青柳 孝三	エントレストHISEヴィッツ	2'18.854

天候:曇り / コース:セミウェット / 出走:44台

サマリー動画も配信!
フォーミュラ・ニッポン
公式ウェブサイト
<http://www.f-nippon.co.jp>
最新ニュースは随時更新。レースのサマリー動画や、フォーミュラ・ニッポンのことをさらに深く理解できる特集記事など、レースワークでなくても楽しめるコンテンツも満載です。

レアなプレゼントが当たる優勝者宛クイズ実施中!
フォーミュラ・ニッポン 公式モバイルサイト
<http://motorsports.ch/fn/index.php>

現地観戦には欠かせないライブタイミングを始めとした速報情報や、動画などの見たいコンテンツが満載! スマートフォン(全キャリア対応)からもアクセス可能です。
※Formula NIPPON公式モバイルサイトは、「モータースポーツチャンネル」内、無料特設サイトにて運用しています。
※docomo, au, SoftBank, スマートフォン共通
※パソコンからのアクセスはできません
※旧サイトの会員情報は新サイトへは引き継がれません。大変お手数ですが新サイトにて再度登録をお願い致します。

「全日本学生フォーミュラ大会」車両展示・トークショー

大学・専門校の学生が、小型フォーミュラカーを自分たちで考え、造り、走らせるのが「学生フォーミュラ」。その企画、設計の内容も審査され、走らせて速さや燃費を競うことと合わせて採点評価されます。今年は海外勢を含む82校がエントリー。フォーミュラ・ニッポン第4戦富士の会場では、メインスタンド前イベント広場に学生たちが作り上げたマシンを展示中。トークイベントもあります!
●「全日本学生フォーミュラ大会」ものづくりデザインコンペティション-第10回大会
開催日時:9月3日(月)~7日(金)
開催場所:エコパ(小笠山運動公園・静岡県袋井市)
入場無料(受付にて入場バスをお受け取りください)
※8月9日(木)~10日(金)富士スピードウェイ駐車場にて全国大会に向けた合同試走会も開催されます。



QUALIFYING NEWS FLASH Rd. 4

予選速報 2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第4戦 2012年7月15日(日) 富士スピードウェイ www.f-nippon.co.jp

Series Partner: HONDA TOYOTA
Series Supporter: BRIDGESTONE
Series Supporter: 観光庁 Japan Tourism Agency



突然の雨にほんろうされた予選 No.2 中嶋一貴が勝負どころを読んで初ポールを奪取! 2位は大嶋、3位にポイントリーダー塚越がつける。ロッテラーはQ2脱落...

7月14日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第4戦の公式予選が、富士スピードウェイ(静岡県県)で行われ、No.2 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)が、フォーミュラ・ニッポン初のポールポジションを獲得した。

好調のTOM'Sだったが明暗が分かれる

サーキットの上空は、まだ梅雨が明けきらず、どんよりとした曇り空だ。ノックアウト方式の予選が開始されたのは、午後2時10分。これに先立って行われたF3の決勝中盤から、富士スピードウェイには再び雨がパラつき始め、Q1もウェット宣言が出される中で20分間のセッションがスタート。しかし、路面はほとんど濡れるところまで行っておらず、全車スリックタイヤを装着してコースに入る。開始から3分でNo.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が最終コーナー立ち上がりでスピン、ストップしてしまった。これで赤旗が出され、予選は中断。マシンが回収されると、残り17分として再開された。

各ドライバーは再びマシンの状態を確認。残り6分あまりから、ニュータイヤでのアタックに入った。ここで、チェッカー目前にトップタイムをマークしたのは、No.1 アンドレ・ロッターラー(PETRONAS TEAM TOM'S)。No.2 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)がそれに続く。3番手にはNo.41 塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)。さらに、No.19 ジョアオ・パロ・デ・オリベira(Team IMPUL)、No.39 国本雄資(Projectu/cerumo-INGING)、No.20 松田次生(Team IMPUL)、No.8 ロイック・デュバル(Team KYGNUS SUNOCO)、No.38 平手晃平(Projectu/cerumo-INGING)と続く。一方、Q1で敗退となった



のは、No.62 嵯峨宏紀(TOCHIGI Le Beausset Motorsport)、No.10 金石年弘(HP REAL RACING)、今回がデビュー戦となるNo.11 中山友貴(HP REAL RACING)、No.18 折田直(SGC by KCMG)、さらにノートタイムとなったのは、午後2時46分。この時には雨も上がり、路面もドライに。ここで異変に見舞われたのは、Q1でトップタイムをマークしたロッターラー。「マシンのセットアップは何も変えず、タイヤしか換えていないのに、全くグリップしない」という症状に陥ったロッターラーは、全くタイムが伸びず9番手。まさかのQ2敗退となった。デュバルも「タイヤの感触がQ1とは全く違った」と、Q3進出を逃した。一方、このセッションでトップタイムを叩き出したのは、デ・オリベira。一貴、松田、塚越、No.7 大嶋和也(Team LeMans)。No.31 中嶋大祐(NAKAJIMA RACING)が6番手のタイムを叩き出し、初のQ3進出を果たす。さらに、国本と平手もQ3に残った。これに対して、Q3進出を逃したのは、前述のロッターラーとデュバル。さらに、No.16 山本尚貴(Team 無限)、No.3 安

田裕信(KONDO RACING)、No.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)もここで敗退となった。

コースインの決断がポジションを決める

8台のマシンによるQ3が開始されたのは、午後3時03分。このセッション開始直前から、再び富士は雨に見舞われ、再びウェット宣言が出された。しかも、この雨はQ1の時よりも強く、アツという間にセクター3の路面が濡れてしまった。そのため、全車まとまらずタイムアタックはできなかった。その中、まっ先にコースインし、何とか前半区間がドライのうちに駆け抜けた一貴が1分36秒694のトップタイムをマーク。この濡りやすい状況の中、最後までブッシュを続けて自己ベストを更新し続けた松田は5番手。以下、コースインのタイミングが若干遅れたデ・オリベiraが6番手、大祐が7番手。パドルシフトの調子がおかしくなってしまった平手は、まともに走れない状況だった。しかもQ1でコースに入る際、ピット出口のホワイトラインをカットしたということ、決勝レースで3グリッド降格となった。



QUALIFYING NEWS FLASH Plus

左のQRコードからアクセス!

予選速報電子版「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」には紙面では伝えきれないコンテンツがいっぱい! 全ドライバーの写真、マシンの写真、動画や、普段は見ることのできない公式通知など情報満載! 予選速報を読み終えたらQRコードからアクセス!!

無料

